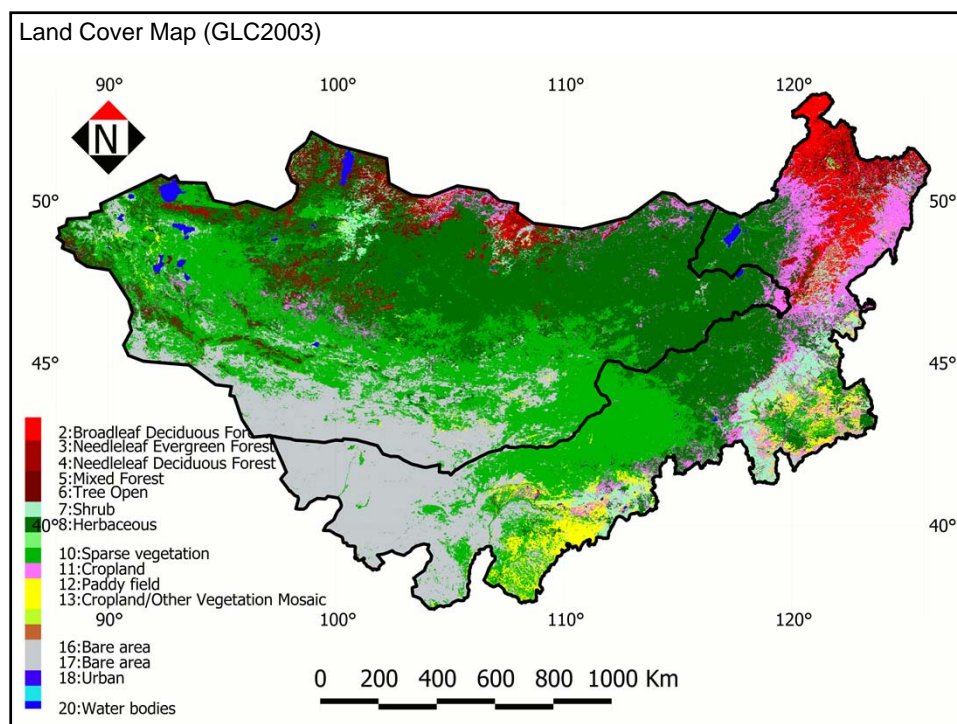
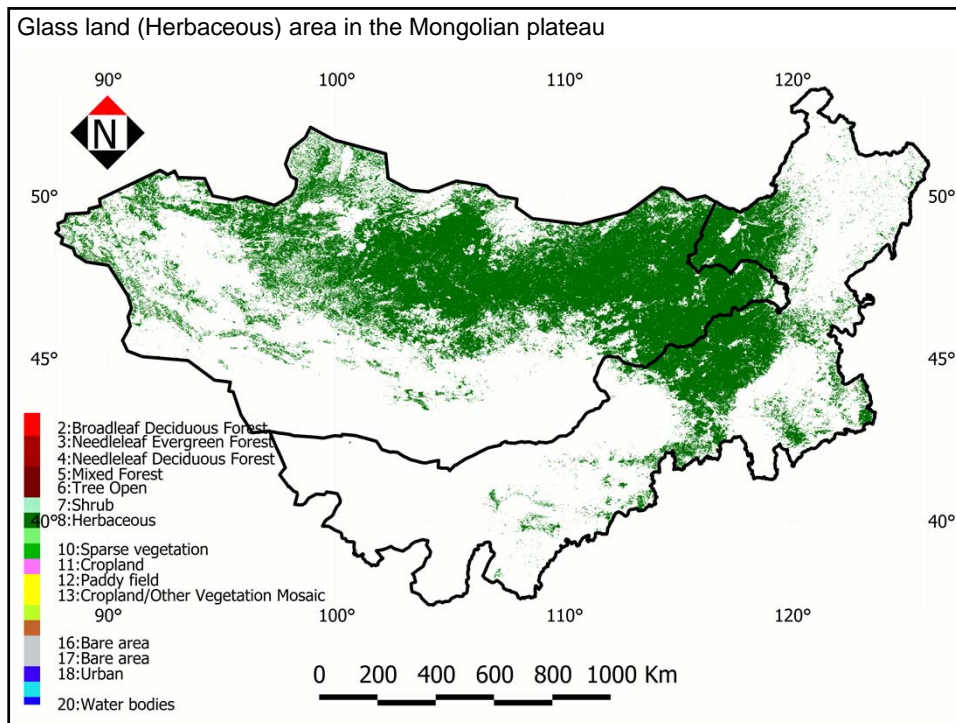


モンゴル草原における遊牧生活の変容 —軍事産業から平和産業へ

小長谷有紀(国立民族学博物館)
20130710@環日本海経済研究所





モンゴル国と中国内モンゴル自治区



モンゴル国



中国内蒙古自治区



1987年3月



モンゴル高原の自然環境

1) 乾燥

年間降水量は少ない

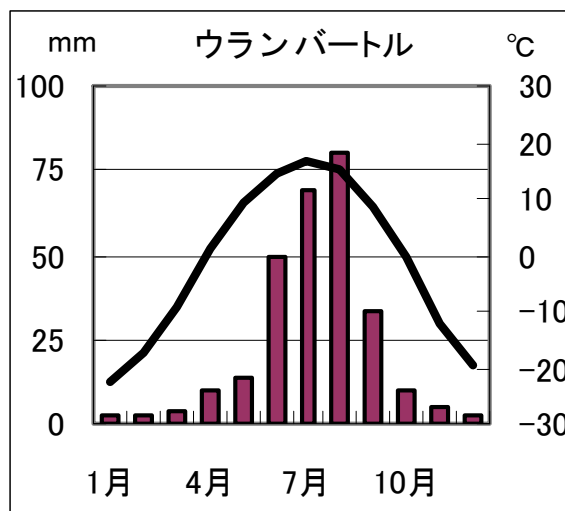
年変動が激しい

2) 寒冷

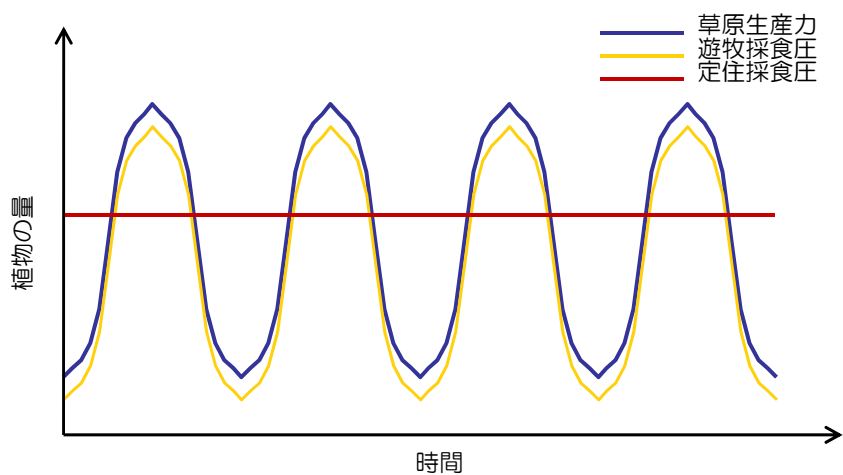
年間平均気温は氷点下になる

いかに越冬するかが決め手となる

ウランバートルの気温と降水量



草原植物群落の生産力及び採食圧の関係模式図



By Nachinshonhor G.U.

内蒙古自治区における農耕化

- I ■ 林業地帯
- II ▨ 主農従牧地域
- III □ 主牧従農



図1 内蒙古自治区における土地利用

内蒙古自治区における都市化

- ◎ 首府フフホト
- 大規模な市
- 中規模な市
- △ 小規模な市
- × 県
- ▨ 赤峰市域
- ▩ 伊克昭盟（現在のオルドス市）



図2 内蒙古自治区における都市集落

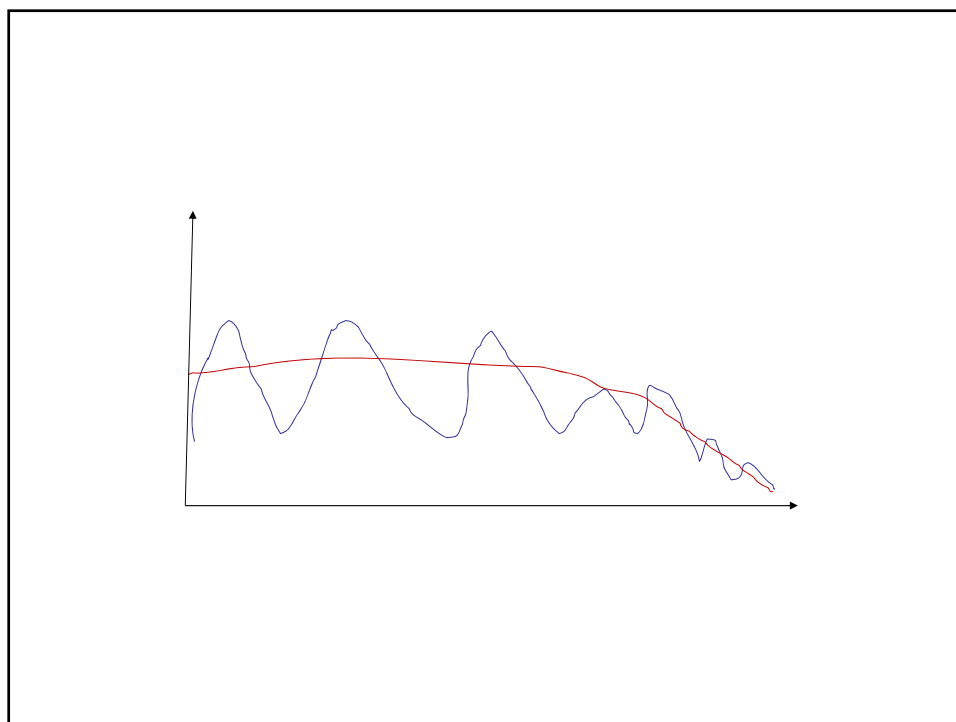
人口密度の差

モンゴル国(2005)

1.61人/平方キロメートル

中国内蒙古自治区(2005)

20.15人/平方キロメートル



砂漠化@中国内蒙古自治区

原因その1)

(過放牧) < 過人口

原因その2)

定着化 > (温暖化)

モンゴル高原の社会環境

1) オアシス社会の不在

自然堤防の後背湿地を使った小規模な農耕
はおこなわれていたけれども・・・

2) 市場の不在

贅沢品との交換をおこなう隊商貿易はおこな
われていたけれども・・・

牧畜経営の3つのタイプ

地域	家畜の性別	商品化率	経営戦略
アフリカ	ほとんどメス	自給的	生存経済
西アジア	主としてメス	商品化	商品経済
モンゴル	メスと 去勢オス	自給的	軍事経済

去勢オス畜を維持する牧畜文化

ウマ = 世界最速の乗り物

時速60キロメートル？

ウシ = 世界最強の曳き物

積載能力300キログラム？

ラクダ = 冬季のウマ・ウシ代わり

ヒツジ(ヤギ) = 歩く冷蔵庫

(ただし、19世紀まで)

家畜の雌雄比(20世紀初頭)

	成メス	子	成オス	雌雄比
ウマ	40	35	25	58:42
ラクダ	30	49	21	55:45
ウシ	45	40	15	65:35
ヒツジ	40	48	12	64:36

草原は軍需工場

- 1)メス家畜を育てる
生存経済を維持するための資源
- 2)去勢オス家畜を育てる
軍事行動を実施するための資源

(ただし19世紀まで)

家畜の平和利用の時代

20世紀から
近代化＝社会主義化

- 1) 去勢オス家畜の商品化
- 2) 去勢オス家畜からの畜産物の商品化
- 3) メス家畜からの畜産物の商品化

遊牧の近代化

1. 社会主義的集団化
2. 畜産物の開発
3. 固定的施設の建設

モンゴル国における土地法

1992年 新憲法で私有化を方向づける

1994年 土地法の制定

2002年 土地法の改正+

土地私有化手続法の制定

2003年 土地法の施行

3つの権利

「所有権」・・・1人当たり0.07ヘクタール
家族で住む目的

「占有権」・・・経済的な活用を促進しつつ、
所有権を規制するための工夫

「利用権」・・・外国人でも可

動産社会から不動産社会へ

- 1) 土地に資本投下する経済活動
- 2) 投資した土地は所有したい願望
- 3) 所有しなくても利用さえできればいい欲望

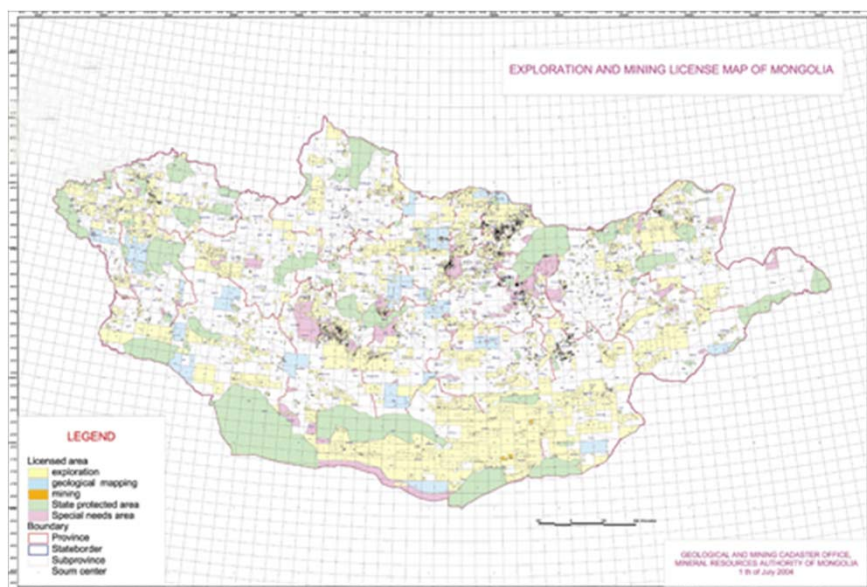
都市部の開発(2008)



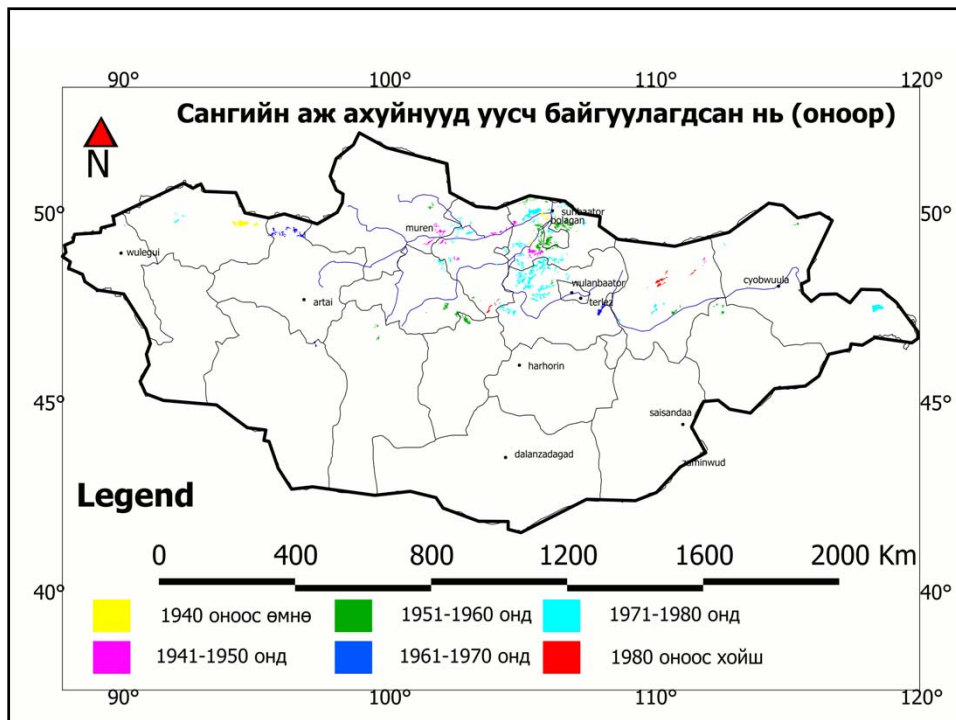
草原部の開発

- 1) 鉱産資源開発
- 2) 農業開発
- 3) ツーリストキャンプ開発

鉱産資源開発



資源開発による荒廃



20世紀農場開発の跡地



現代の農業開発



ツーリストキャンプ



ツーリストキャンプ



遊牧民の集中

- 1) 首都近郊へ
- 2) 道路の周辺へ

草原植物の草高と種多様性©藤田昇

